

令和4年度和歌山支部保険者機能強化予算案について

和歌山支部保険者機能強化予算にかかる経費について（令和4年度）

（単位：円）

事項	項番	新規・継続 事業の別	事業名	予算(案)	
医療費適正化 経費	1	継続	健康イベント「みんなの健康フェア」における医療費適正化にかかるセミナー、ブースの出展	330,000	
	2	新規	薬効別に分析した使用率が低い薬剤使用者に対する促進啓発	275,000	
	3	継続	ジェネリック医薬品使用促進セミナーの開催	332,520	
	4	継続	医療機関連事務担当者向け健康保険事務説明会の開催	55,000	
	小計				992,520
	広報・意見発信経費	5	継続	紙媒体による広報	2,653,200
		6	継続	地域情報紙とのコラボ広報(LIVING和歌山)	528,000
		7	継続	「わかやま健康と食のフェスタ」へのブース出展	21,499
		8	継続	地域情報誌への広告掲載(まみたん)	400,400
		9	継続	県広報誌への広報	1,540,000
		10	継続	バス車両ラッピング広告による広報	528,000
		11	継続	バス車内広告	409,200
		12	継続	バス車内放送広告	396,000
		13	継続	郵便局内での広報用ポスターの掲示	143,000
		14	継続	TV局のスポットCMの活用による広報	979,000
		15	継続	ラジオ広報の実施(ジェネリック医薬品啓発、健診等)	369,600
		16	新規	電子看板(映像)による広報の実施	567,600
17		新規	広報コラムの作成業務委託	429,000	
小計				8,964,499	
支部医療費適正化経費合計				9,957,019	
支部医療費適正化 予算枠				9,963,000	
保健事業経費	18	継続	事業者健診結果データ提供にかかる費用	423,500	
	19	継続	事業者健診にかかる同意書取得勸奨及び健診結果データ取得勸奨等の外部委託	7,975,000	
	20	継続	被扶養者向け 協会主催の集団健診実施にかかる経費	8,622,625	
	21	継続	和歌山県医師会との連携による特定健診受診促進に関する事業	49,500	
	22	継続	生活習慣病予防健診同時勧奨による新規受診者の獲得および出張健診の実施	1,209,120	
	23	継続	任意継続及び新規適用加入者への生活習慣病予防健診及び特定健診の案内	881,450	
	24	継続	被扶養者向け がん同日実施の集団健診における広報(案内)	550,000	
	25	継続	被扶養者向け 特定健診の案内(一斉発送)	1,186,460	
	26	継続	生活習慣病予防健診の案内(一斉発送)	467,280	
	27	継続	特定保健指導の利用勸奨	867,840	
	28	継続	重症化予防対策	883,608	
	29	継続	健康宣言事業所サポート事業	2,968,515	
	30	継続	健康経営促進セミナーの実施	447,480	
	31	継続	歯科検診とのコラボによる特定保健指導の開催	310,906	
	その他保健事業必要経費(健診実施に必要な費用等)				4,335,812
	保健事業経費合計				31,179,096
	保健事業経費 予算枠				31,180,000
	合計				41,136,115

支部医療費適正化等予算

支部保健事業予算

<支部医療費適正化等予算>

1. 医療費適正化対策経費

事業名	1	健康イベント「みんなの健康フェア」における医療費適正化にかかるセミナー、ブースの出展			継続事業
実施概要	一般加入者向けに地元地方紙の健康イベント時に健康保険制度、医療費、適正な医療のかかり方、インセンティブ、GEなどに関するセミナーを実施する。				
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> 医療費適正化における意識啓発 支部におけるジェネリック医薬品使用割合の向上 	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	220,000	ブース出展費@100,000円×1.1×2=220,000円
			リース・レンタル費	110,000	健康機器レンタル代50,000×1.1×2=110,000円
			合計	330,000	

事業名	2	薬効別に分析した使用率が低い薬剤使用者に対する促進啓発			新規事業
実施概要	和歌山支部のGE使用率を薬効別に分析し、使用率が低い薬剤使用者に対する使用勧奨を実施する。				
期待される効果	支部におけるジェネリック医薬品使用割合の向上	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			印刷製本費	275,000	@25円×10,000枚×1.1=275,000円
			合計	275,000	

1. 医療費適正化対策経費

事業名	3	ジェネリック医薬品使用促進セミナーの開催	継続事業	
実施概要	薬剤師会や和歌山県等の関係機関と連携し、加入者や医療関係者に向けジェネリック医薬品の啓発セミナーを実施し、ジェネリック医薬品使用率の向上を図る。			
期待される効果	支部におけるジェネリック医薬品使用割合の向上	経費の内訳	算出根拠	
		科目	予算額	
		委託費	253,000	会場賃借、チラシ作成封入封緘一式
		リース・レンタル費	79,520	講師料@7,900円×6時間=47,400円、講師旅費16,060円×2=32,120円
		合計	332,520	

事業名	4	医療機関事務担当者向け健康保険事務説明会の開催	継続事業	
実施概要	医療機関事務担当者向け説明会を開催し、資格喪失後受診に対するレセプトの返戻同意や交通事故等の第三者行為による原因で医療機関を受診した者に対する届書の提出勧奨、高額療養費制度の説明や限度額適用認定証の使用促進等の要望を行う。また、2年に1回の診療報酬改定が行われる年度のため、支払基金より診療報酬改定内容に係る注意点やレセプト請求時の注意点について説明していただくこととする。			
期待される効果	・医療機関事務担当者に対して、受診時やレセプト請求時における注意点を説明することにより、レセプトの請求誤りの防止やレセプトの返戻同意への協力体制を構築する。 ・交通事故等の第三者の行為による怪我の治療で健康保険を使用した場合の届書の提出勧奨の周知や高額療養費制度についての周知を図ることにより、医療機関窓口での限度額適用認定証の使用促進を拡大していくこととする。	経費の内訳	算出根拠	
		科目	予算額	
		リース・レンタル費	55,000	通信機器レンタル料1台×50,000円×1.1(消費税)=55,000円
		合計	55,000	

2. 広報意見発信経費 その他の広報

事業名	5 紙媒体による広報				継続事業
作成物	納入告知書同封チラシ ・事業主・事業所担当者への周知及び情報提供を目的とする	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			印刷製本費	1,415,700	@6.5円×18,000部×11か月×1.1(消費税)=1,415,700円
		小計	1,415,700		
作成物	事業案内用カレンダー ・健康保険委員への情報提供を目的とする	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	907,500	@275円×3,000部×1.1(消費税)=907,500円
		小計	907,500		
作成物	インセンティブ制度チラシおよびポスターの作成 ・インセンティブ制度周知による各種指標の向上を目的とする	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	165,000	@15円×10,000部×1.1(消費税)=165,000円
		小計	165,000		
作成物	保険証の適正使用啓発ポスターの作成及び医療機関への配付 ・保険証適正使用による返納金発生防止を目的とする。	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	165,000	@75円×2,000部×1.1(消費税)=165,000円
		小計	165,000		
			合計	2,653,200	

2. 広報意見発信経費 その他の広報

事業名	6	地域情報紙とのコラボ広報(LIVING和歌山)	継続事業		
実施概要	地域の情報紙(フリーペーパー)「LIVING和歌山」の健康情報コーナー等を活用し、協会けんぽイベント案内、ジェネリック使用促進、業務関係案内、インセンティブ制度、健診等の周知、情報提供を図る。				
期待される効果	和歌山市近隣地域及び、職域、その他の和歌山県内へ発行され、さらに地域ごとに絞ったチラシ折込も可能という特性から、地域を絞ったイベントや各種事業の広報を行うことができる。	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			広告宣伝費	528,000	半3段 (@40,000円×1.1×12回)=528,000円
		合計	528,000		

事業名	7	「わかやま健康と食のフェスタ」へのブース出展	継続事業		
実施概要	和歌山県保険者協議会の一員として、和歌山県の主催する「わかやま健康と食のフェスタ」にブース出展を行う。標記イベントは、和歌山県が健康推進や食育に携わる団体等と連携し、健康に関する特色ある活動の紹介や自らの健康状態を把握できる体験の場を提供することで、県民健康意識の高揚を図ること及び健康寿命の延伸につなげることを目的に実施されるもの。				
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> 協会(保険者協議会含む)の知名度向上 保険者協議会との連携強化 県民(加入者を含む)の健康増進(高血圧・動脈硬化等の生活習慣病につながる健康改善意識の向上) 	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			消耗品費	4,219	測定機器用プリンターインク(@3,835円×1パック×1.1)=4,219円
			消耗品費	17,280	測定機器用印字用紙(@1,600×3セット×1.1)+送料1,000円=6,280円+電源コード10,000円
		合計	21,499		

2. 広報意見発信経費 その他の広報

事業名	8	地域情報誌への広告掲載(まみたん)			継続事業
実施概要	和歌山市・岩出市・海南市・紀の川市の幼稚園・保育園(エリア内の80%をカバー)にて園児に直接配布される地域情報誌(子育て応援まみたん)の広告スペースに広報記事(4コマ漫画やアニメーション等の活用含む)を掲載し、園児の親世代に対して協会けんぽの様々な事業について広報を実施する。				
期待される効果	協会けんぽの事業の理解度向上、ジェネリック医薬品使用割合向上、限度額認定証の普及、マイナンバーカードの周知、健診の重要性の啓発、メルマガ登録数の向上等	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			広告料	400,400	広告掲載費 @91,000円×4回×1.1=400,400円
			合計	400,400	

事業名	9	県広報誌への広報			継続事業
実施概要	和歌山県の広報誌「県民の友」紙面内広告を活用し、健診及び保健事業案内、ジェネリック医薬品の使用促進及び保険料率改定の案内等、周知・情報提供を図る。				
期待される効果	和歌山県全域を網羅する広報誌として、効率的に加入者及び事業主に、直接事業案内や情報提供をすることができる。	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			広告宣伝費	1,540,000	中面下段縦6cm×横18cmサイズ(@350,000円×4回×1.1)=1,540,000円
			合計	1,540,000	

2. 広報意見発信経費 その他の広報

事業名	10	バス車両ラッピング広告による広報			継続事業
実施概要	和歌山市内を走るバスにラッピング広告を掲載し、「健診受診促進」や「ジェネリック医薬品使用促進」の広報を行う。和歌山県内の人口の約40%は和歌山市に在住しており、市内を走るバス広告は効果的。現在のラッピングを変更することも考慮する。				
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ジェネリック医薬品使用における意識啓発 支部におけるジェネリック医薬品使用割合の向上 健診受診率の向上 	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	330,000	側面広告 年間 300,000円×1.1=330,000円
			委託費	198,000	制作施工撤去料金 180,000円×1.1=198,000円
			合計	528,000	

事業名	11	バス車内広告			継続事業
実施概要	和歌山市内を走るバス車内に広告及びポスターを掲示し、「ジェネリック医薬品使用促進」や「健診受診促進」の広報を行う。				
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ジェネリック医薬品使用における意識啓発 支部におけるジェネリック医薬品使用割合の向上 健診受診率の向上 	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	343,200	ポスター広告費用 300,000円(30日)×1.1=330,000円、作業費 12,000円×1.1=13,200円
			委託費	66,000	B3ポスター制作費(140枚) 60,000円×1.1=66,000円
			合計	409,200	

2. 広報意見発信経費 その他の広報

事業名	12	バス車内放送広告			継続事業
実施概要	JR和歌山駅的最寄りのバス停「新地」の到着時に路線バス内の車内放送で乗客に対し「ジェネリック医薬品使用促進」等の事業案内の音声放送を実施する。これにより、協会けんぽの各事業に対する取り組みを乗客にアピールし周知を図るもの。				
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ジェネリック医薬品使用における意識啓発 支部におけるジェネリック医薬品使用割合の向上 	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			賃借料	396,000	広告費 月30,000円×12か月×1.1=396,000円
			合計	396,000	

事業名	13	郵便局内での広報用ポスターの掲示			継続事業
実施概要	県内の主要郵便局(和歌山中央郵便局)の広告スペースに、支部イベント等のポスターを掲示し、郵便局に来所する加入者に向けた広報活動を行う。				
期待される効果	協会けんぽの事業の理解度向上、イベント来客数の向上	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			ポスター掲載費	88,000	ポスター掲載費(ショーウィンドウ) @ 80,000円(1か月)×1枚×1か所×1.1(消費税)=88,000円
			委託費	55,000	ポスターデザイン費@50,000円×1.1=55,000円
			合計	143,000	

2. 広報意見発信経費 その他の広報

事業名	14	TV局のスポットCMの活用による広報				継続事業
実施概要	<p>地元TV局のCM枠に、大規模イベントの参加に合わせ支部事業(インセンティブ等)について広報を行う。視聴率の望める有望な番組に、15秒CMを放映するもの。</p>					
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> 協会けんぽの認知度向上 支部事業の認知度向上 健診受診率の向上 	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			広告宣伝費	451,000	CM静止画製作費@10,000円×1本分×1.1=11,000円、CM動画製作費@400,000円×1本分×1.1=440,000円	
			広告宣伝費	528,000	CM放映費@12,000円×20回×2×1.1=528,000円	
			合計	979,000		

事業名	15	ラジオ広報の実施(ジェネリック医薬品啓発、健診等)				継続事業
実施概要	<p>インセンティブ、ジェネリック医薬品啓発、健診等の広報として、和歌山県内を網羅する地方ラジオ局のAMおよびFM放送にて、CM(約20秒)及びスタジオ生出演(10分×6回)を活用し、大規模イベントに合わせた支部事業広報、集団特定健診案内等イベントに合わせた広報を実施する。</p>					
期待される効果	<p>和歌山県全域に情報を提供することができる。また、スタジオ生出演を活用することで、より詳細な内容を親しみを込めて伝えることが可能であり、健診受診率の向上やジェネリック使用割合向上が期待できる。</p>	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			広告宣伝費	369,600	放送料@8,000円×3回/日×14日=336,000円×1.1=369,600円	
			合計	369,600		

2. 広報意見発信経費 その他の広報

事業名	16	電子看板(映像)による広報の実施				新規事業
実施概要	JR和歌山駅中にある「大型電子看板(デジタルサイネージ)」にて15秒の動画、静止画を放映し、大規模イベントに合わせた支部事業広報(インセンティブ等)や集団特定健診案内等イベントに合わせた広報を実施する。					
期待される効果	JR和歌山駅周辺を往来する加入者に電子看板を活用し情報を提供することができる。1日に38000人が駅周辺を行きかうため、効果的に伝えることが可能であり、健診受診者率の向上やジェネリック使用割合向上が期待できる。	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			広告宣伝費	369,600	放映料@56,000円/月×6×1.1=369,600円	
			広告宣伝費	198,000	動画製作費@180,000円×1×1.1=198,000円	
			合計	567,600		

事業名	17	広報コラムの作成業務委託				新規事業
実施概要	毎月本部で作成し、HPに掲載していた健康コラム(「知ったク!医療保険情報」と「季節の健康情報」)が令和3年4月に終了したため、それに代わるコラムを作成し、広報の充実を図るもの。健康づくりに役立つ情報を配信し、ヘルスリテラシーの向上を目的とする。					
期待される効果	・広報の充実 ・ヘルスリテラシーの向上	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			委託費	264,000	管理栄養士等によるコラム作成費用@20,000円×12か月×1.1=264,000円	
			委託費	165,000	レシピ作成費用@50,000円×3回×1.1=165,000円	
			合計	429,000		

<支部保健事業強化予算>

3. 保健事業経費

事業名	18	事業者健診結果データ提供にかかる費用	継続事業		
実施概要	覚書等を締結している事業所等から健診結果データを提供いただいた際に、データ作成・提供費用の支払いをする。				
期待される効果	年々、データ提供いただける事業所が増加傾向にあり、一部の健診機関だけでなく、事業所単位でデータを取得することで、事業者健診実施率の向上を期待する。	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	423,500	データ作成料 @350円×1,100件×1.1=423,500円
			合計	423,500	
事業名	19	事業者健診にかかる同意書取得勧奨及び健診結果データ取得勧奨等の外部委託	継続事業		
実施概要	事業者健診にかかる同意書取得勧奨及び健診結果データ取得勧奨を外部委託により全面実施することで、事業者健診実施率の向上を図る。				
期待される効果	H30年度から委託を実施しており、委託後の事業者健診実施率順位がR1年度10位、R2年度7位と支部事業者健診実施率向上に貢献しており、引き続き委託により実施率の向上を図る必要がある。	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	7,975,000	一式
			合計	7,975,000	

3. 保健事業経費

事業名	20	被扶養者向け 協会主催の集団健診実施にかかる経費			継続事業
実施概要	がん検診と同日実施できない市を中心に協会主催の集団健診(無料)を実施し、未受診者の再勧奨を行う。 協会主催の集団健診として、下記の通り実施のうえ、無料で健診を受ける機会の提供を拡大するとともに、健診受診率向上を図る。 ①わかやま商工まつりでの集団健診の開催 ②協会主催の集団健診の開催(定例35回分) ③その他イベント等での開催を検討(1回分)				
期待される効果	特定健診受診率の向上のため、協会主催の集団健診の開催規模を拡大し、新規受診者数の獲得を図る。集団健診については、開催1回あたり、100~250名程の受診者数を期待できる。	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	8,622,625	一式
			合計	8,622,625	

事業名	21	和歌山県医師会との連携による特定健診受診促進に関する事業			継続事業
実施概要	院内掲示用の特定健診広報用ポスターを作成のうえ、和歌山県医師会を通じて、配布。				
期待される効果	特定健診を実施できる医療機関等に掲示することによる広報効果及び特定健診受診率の向上	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	49,500	A3サイズポスター印刷費 @75円×600部×1.1=49,500円
			合計	49,500	

3. 保健事業経費

事業名	22	生活習慣病予防健診同時勧奨による新規受診者の獲得および出張健診の実施	継続事業		
実施概要	事業所及び対象者個人へ生活習慣病予防健診の案内、勧奨を行うことで、相乗効果による受診率向上を期待する。 【事業対象】 対象者3～50名、前年度実施率0～30%、当年度申込率0～30%を想定 エリアによって健診機関数が少なく、受け入れ枠も少ないため、健診機関が不足しているエリアで協会主催の集団健診を実施し受診率向上を図る。				
期待される効果	前年度実施率0～30%を対象としているため、新規受診者獲得による生活習慣病予防健診受診率の向上。	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	1,209,120	一式
			合計	1,209,120	

事業名	23	任意継続及び新規適用加入者への生活習慣病予防健診及び特定健診の案内	継続事業		
実施概要	任意継続及び新規適用加入者へ生活習慣病予防健診及び特定健診の案内(一括分+随時分)により、健診制度の周知、受診者数の増加を図る。				
期待される効果	生活習慣病予防健診及び特定健診受診率の向上	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	881,450	一式
			合計	881,450	

3. 保健事業経費

事業名	24	被扶養者向け がん同日実施の集団健診における広報(案内)	継続事業		
実施概要	がん同日実施の集団健診に特化した広報並びに、未受診者への再勧奨を行い、特定健診受診率の向上を図る。 年度初めの一斉発送時に案内出来ない地域(岩出市、紀の川市、上富田町、みなべ町、すさみ町)の対象者へ個別案内を実施する。				
期待される効果	特定健診受診率の向上	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	550,000	一式
			合計	550,000	
事業名	25	被扶養者向け 特定健診の案内(一斉発送)	継続事業		
実施概要	年度当初に県内に居所がある被扶養者に対し、令和4年度の特定健診案内を行い、特定健診受診を促すことで、受診率の向上を図る。 本部作成のパンフレット+受診券と併せて、支部作成のチラシ等を案内する。(一斉発送)				
期待される効果	特定健診受診率の向上	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	1,186,460	一式
			合計	1,186,460	

3. 保健事業経費

事業名	26	生活習慣病予防健診の案内(一斉発送)				継続事業
実施概要	年度当初に事業所に対し、令和4年度の生活習慣病予防健診の案内を行い受診を促すことで、受診率の向上を図る。事業所あてに令和4年度の生活習慣病予防健診及び受診対象者を案内(一斉発送)					
期待される効果	生活習慣病予防健診受診率の向上	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			委託費	467,280	一式	
			合計	467,280		

事業名	27	特定保健指導の利用勧奨				継続事業
実施概要	特定保健指導に関する事業所および対象者への利用案内を実施し、特定保健指導実施事業所の開拓および特定保健指導実施者数の増加を図る。					
期待される効果	特定保健指導実施事業所の拡大および 特定保健指導初回面談実施者数の増加	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			印刷製本費	867,840	一式	
			合計	867,840		

3. 保健事業経費

事業名	28	重症化予防対策	継続事業		
実施概要	①和歌山県版糖尿病性腎症重症化予防対策プログラムにあわせて受診勧奨およびハイリスク者への保健指導を実施する。 ②健診機関と連携し、健診当日に血圧高値者へ高血圧予防啓発リーフレットを配布し、医師または看護師等より早期受診を促す。				
期待される効果	早期受診による重症化の予防	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			印刷製本費	3,608	A4用紙1セット(500枚入)@820円 ×1.1×4=3,608円
			印刷製本費	880,000	リーフレット 40円×20,000部×1.1 =880,000円
			合計	883,608	

事業名	29	健康宣言事業所サポート事業	継続事業		
実施概要	和歌山県との健康づくりに関する協定に基づいて、健康宣言事業「わかやま健康づくりチャレンジ運動」を県民運動として実施するもの。チャレンジ運動登録事業所を対象に健康づくりのサポートを行うもの。 ○実施事業 ・健康講座・血圧計、体組成計の貸し出し・血管年齢測定器の貸し出し・出前講座、InBodyによる測定会の実施等				
期待される効果	事業所及び被保険者の健康づくりへの参加、健康増進	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	2,968,515	事業所サポート事業一式
			合計	2,968,515	

3. 保健事業経費

事業名	30	健康経営促進セミナーの実施	継続事業		
実施概要	健康経営に関する講演等を実施し、健康経営を実践するよう啓発を行う。 あわせて、健康経営の実施手法としての健康宣言事業への参加や、実践目標としての健康経営優良法人認定制度の紹介、申請の勧奨を行う。				
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> 参加事業所の健康経営への理解促進、健康づくりにつながる事業の実施 健康宣言登録事業所および健康経営優良法人認定制度の申請事業所の増加 	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	447,480	印刷製本、会場費、講師料一式
			合計	447,480	

事業名	31	歯科検診とのコラボによる特定保健指導の開催	継続事業		
実施概要	特定保健指導と合わせて、歯科検診を開催。年間2回程度 和歌山市内で開催する。 歯科検診を同日に行うことで、特定保健指導の集客につなげたい。 また、糖尿病重症化予防等に歯周病予防との関連があることから、歯科検診を通じて、歯周病予防につなげる。				
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> 新たな特定保健指導の実施者の拡大につながる 歯科検診で異常が発見された方の早期受診につながる 	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	240,000	歯科検診費用一式 1回 120,000円 ×2回=240,000円
			会場費	70,906	印刷製本費、会場費一式
			合計	310,906	